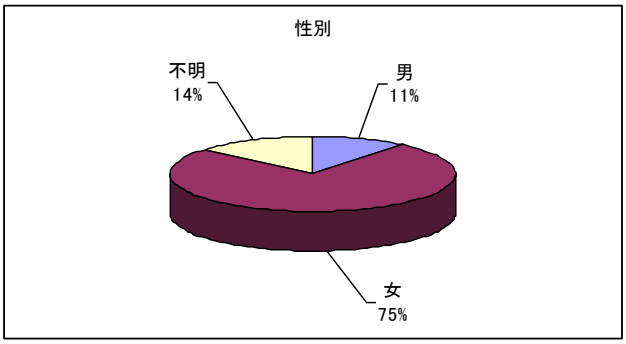
マイカー通勤・通学に関するアンケート結果

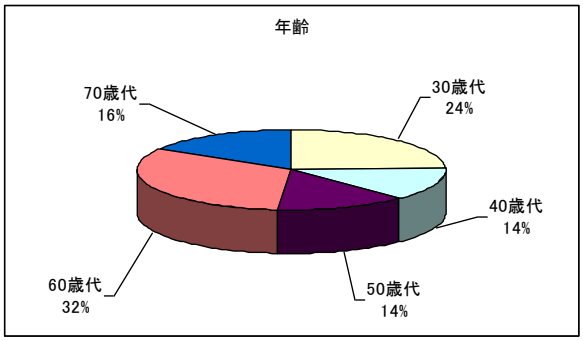
はこだて・エコフェスタ 2013 の来場者３７人に対して行ったアンケート調査の結果は，下記のとおりである。

１　回答者の性別，年齢構成

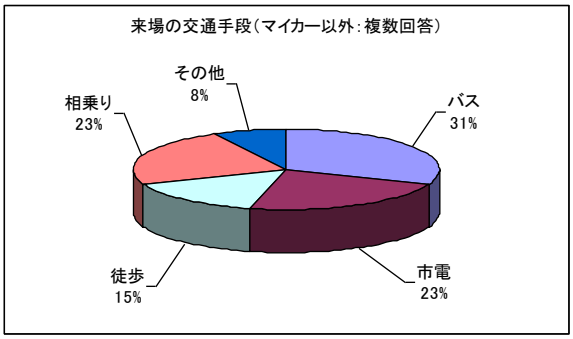
性別は男１１％，女７５％，不明（未回答）１４％であった。

また，年齢構成は６０歳代が３２％と最も多く，３０歳代２４％，７０歳代１６％となり，性別にやや偏りがあるものの，各年代から意見を聴くことができた。





２　「今日のはこだて・エコフェスタ 2013 にはマイカーで来ましたか？」との設問に対し，マイカーでの来場者が７０％，マイカー以外の交通手段は３０％であった。

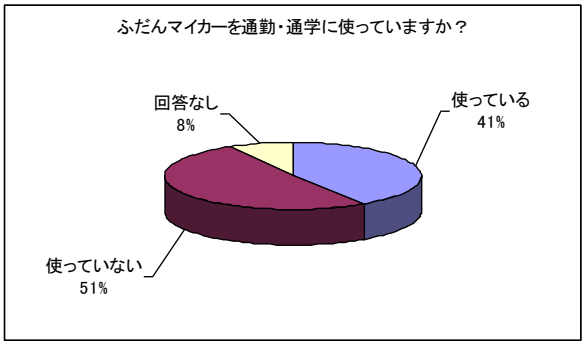


また，マイカー以外の交通手段では多い順に，バス３１％，市電２３％，相乗り２３％であった。

今年度は雨天のため，晴天であった昨年度と単純に比較できないが，バス（昨年度１２％）と相乗り（昨年度５％）の割合が増加している。

なお，自転車，タクシーでの来場は無く，徒歩での来場者は，若松町と弁天町からの１人ずつであった。

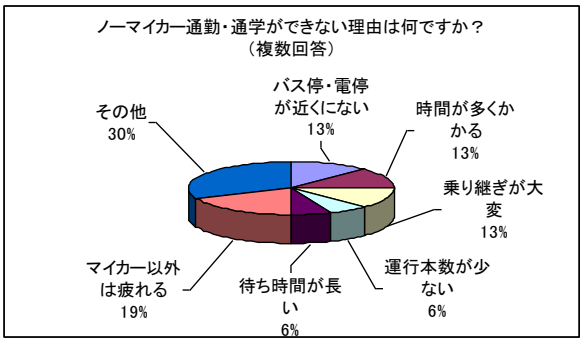
３　「ふだんマイカーを通勤・通学に使っていますか？」との設問に対し，使っている４１％，使っていない５１％となり，昨年度と同様の傾向であるが，回答者の中には主婦など通勤・通学をしていない方も含まれていることから，マイカー通勤の比率は，もう少し高くなると予想される。



また，ふだんマイカー通勤・通学している方の自宅から通勤・通学先までの片道の距離は，回答のあった７人の平均で７．７km，所要時間は９人の平均で１３．３分となった。

距離・時間の最短は２km，５分であり，最長は１５km，２５分であった。

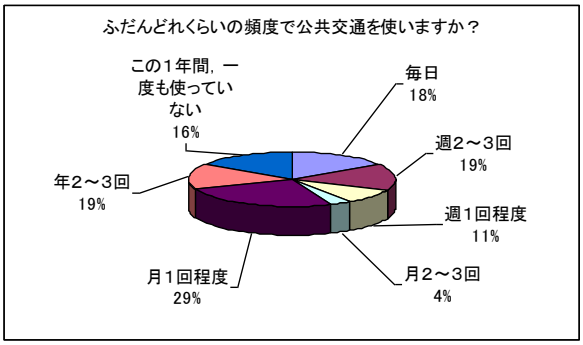
４　「ノーマイカー通勤・通学ができない理由は何ですか？」との設問に対し，多い順にその他３０％，マイカー以外は疲れる１９％，バス停・電停が近くにない１３％，時間が多くかかる１３％，乗り継ぎが大変１３％であった。



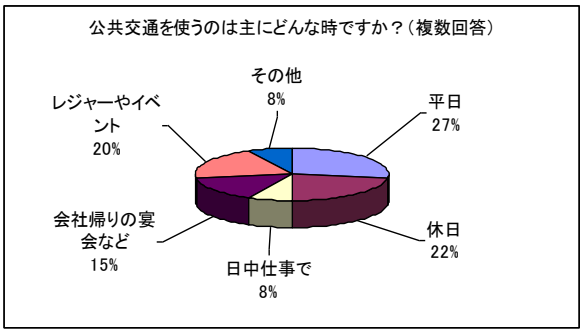
これらの理由は，以前より公共交通の利便性向上の課題として繰り返し指摘されているものであるが，昨年度最多であった，運行本数が少ないという意見が減少している。

その他の理由としては，「職業上不可能」，「帰りが遅い」，「子供を幼稚園に送迎する」などの意見があった。

５　「ふだんどれくらいの頻度で公共交通を使いますか？」との設問では，月１回程度（２９％）と年２～３回（１９％）を合わせると約半数であるが，週２～３回も１９％と比較的高いことから，ふだんから公共交通を利用する方としない方とに二分されている傾向は昨年度と同様である。



６　「公共交通を使うのは主にどんな時ですか？」との設問では，平日が２７％と最も多く，次いで，休日が２２％，レジャーやイベントが２０％，会社帰りの宴会など１５％となり，上位３つは昨年度と同様の傾向となった。



ふだんマイカー通勤している方が公共交通を利用するのは，休日（５人），レジャーやイベント（３人）が多く，必要に応じて公共交通機関も利用しているが，ふだんマイカー通勤していない方が公共交通を利用する場合は，平日（９人）が最も多い。

７　自由意見（内容は原文のまま）

（１）スムーズに乗り換え出来ればいいのに。

（２）これからは徒歩にします。

（３）近場は歩く，できるだけ車は使わないようにはしている。健康のためにも。

（４）駐車場がない，ダイエット。

８　まとめ

今年度は，雨天のためアンケート回収件数が３７件と少ないが，全体としては，回収件数が１２０件であった昨年度と同様の傾向が見られた。

・公共交通の利便性（運行本数，運行ルート，移動時間，乗り継ぎ等）向上が課題である。
・ふだんマイカー通勤していても，利用頻度は少ないが休日およびレジャーやイベントでは公共交通機関を利用している。
・ノーマイカー通勤・通学ができない理由のうち，今年度最多となった「その他」としてあげられた「職業上不可能」，「帰りが遅い」，「子供を幼稚園に送迎する」等，マイカーを使用しなければならない状況や理由がある場合，ノーマイカーへの転換は困難であるので，マイカーを使わなくてもよい条件やきっかけの継続調査が必要である。